

令和6年度「#あおばな in 鶴田中学校」開催概要

県内の中学生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年7月11日（木）13：30～15：00

○場所：鶴田町立鶴田中学校 第1体育館

○参加学生：全校生徒262名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①県内の公共交通機関を取り巻く課題と対策について
- ②若者の県内進学・就職や青森県の魅力向上について
- ③若者の就農促進や耕作放棄地対策について
- ④若者が安心して進学できる青森県の教育のあり方について

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・ 鶴田中学校の皆さんは岩木川やりんご畑など素晴らしい自然に囲まれているので、自分たちの地域をもっと知り、その魅力や誇りを感じてほしい。夢があるなら世界に大きく羽ばたいてほしいけれど、鶴田町も青森県も世界の一部。私も皆さんがここに残りたい、戻ってきたいと思う青森県を作っていきたい。
- ・ 夢を叶えるために必要なことは、諦めないこと。たとえ学校の勉強が苦手だとしても、皆さんは無数の可能性を秘めている。私はいろんな人たちと会っていますが、成功している人たちは諦めていない人たち。
- ・ 皆さんの中学校生活やこれからの人生において答えはないし、出した答えが正しいかどうかともわからないまま進むことがたくさんある。そのときに大切にしてほしいのが対話。友達、先生、両親との対話。そうすると必ず、完璧な正解でなくても、納得できる答えが出る。ぜひ学校生活やこれからの皆さんの人生においても、対話を大切に、それぞれが夢に向かって頑張ってください。

